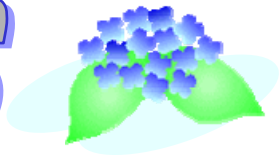


パートナーシップNEWS



第15号 平成16年7月 発行：パートナーシップ推進



パートナーシップ最前

街美化アダプト制度研修会が開催されました

6月20日(日)、南合同庁舎にて、街美化アダプト制度研修会が開催されました。

社団法人食品容器環境美化協会の谷津 直生さんから制度についてのお話の後、活動団体からの報告がありました。

アダプト制度ってなあに？

「アダプト」は「～を養子にする」という意味で、地域の皆さんが、身近な公園、道路などの「里親」になって、愛着をもって世話をする(=美化活動などを行う)ものです。

相模原市アダプト制度 シンボルマーク



この看板を見かけたら・・・

アダプトプログラムで、地域の皆さんがお世話している場所です

【報告】こんな活動をしています！

★道保川を愛する会 & 河川整備課

小山直次 世話人代表

道保川を愛する会は、道保川の多自然型川づくりを機に、地域の住民が集まって結成されました。コンクリートではなく、自然を生かした河川に改修され、メンバーで清掃をしたり、花や山野草を植えたりしています。活動に参加する人も増えてきました。もともと美しい川なので、これからも大事にしていきたいです。



右：小山世話人代表
左：河川整備課 岩本さん

河川整備課から

アダプト制度によって、自然を生かした保全活動を共に行うほか、河川の施設の破損状況などの通報も頂けることになっていて助かります。

★相模原市印刷協働組合 & 公園課

重久正次 理事長

「花の広場」と名づけた相模川自然の村の一角をお世話しています。印刷共同組合は、環境にやさしい活動の一環として、ISO14001の認証も取得しました。会員にとっては、青空の下、土に触れるいい機会になっています。花の広場への愛着も強くなってきており、近くに住む会員は、活動日でなくても見に行き手入れをしています。



右：重久理事長
左：公園課 大田さん

公園課から

アダプト制度を取り入れることで、花が多くきれいになり、低木の植栽部分が抜け道として踏み荒らされることがなくなりました。

(社) 食品容器環境美化協会

★谷津 直生さん★ のお話

アダプト・プログラムは、米国テキサス州で、ハイウェイの美化を地域住民が行うという活動から始まりました。

このプログラムは、市民団体(自治会・町内会、地元企業、環境団体など)と行政の間で合意書を取り交わし、市民団体は清掃・美化活動を、行政は活動支援(サインボードの掲示、用具の提供など)を行うものです。



相模原市がこの制度を導入した2003年には、149の自治体アダプトの取り組みを行っています。

プログラムに参加した市民団体からは、「まち美化への関心が高まった」、「散乱ごみが減少した」などの声が寄せられています。

アダプト・プログラムと通常ボランティアの違いとしては、サインボードなどによるPR効果、合意書の存在による継続性を狙っている点などが挙げられます。

相模原市でのアダプト制度の実施状況は？

(15年度実績)	実施箇所	活動団体数
緑地	16	23
公園	356	232
緑道	35	12
雨水調整池	1	1
児童遊園	14	14
河川敷	1	1
計	423箇所	283団体

*全国的に見ても実施箇所が多い自治体となっています。